

重度認知症患者デイケア実施医療機関各位

公益社団法人 日本精神科病院協会
会 長 山 崎 學
老人保健事業検討委員会
常務理事 瀧 野 勝 弘
(公 印 省 略)

令和 2 年度厚生労働省老人保健事業
重度認知症患者デイケア実施医療機関への実態調査ご協力をお願い

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素、当協会の諸事業に対しご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、このたび当協会では令和 2 年度老人保健健康増進等事業（テーマ番号 94）において「認知症重症化予防（三次予防）に関する調査研究事業」に応募し、採択されました。

本事業は全国の重度認知症患者デイケアを実施する医療機関を対象とした実態調査です。各施設で実施されているプログラムを集積・分析し、重症化予防、機能維持、行動・心理症状の予防・対応に重度認知症患者デイケアが有効であることを確認するとともに、本デイケア以外の医療や社会資源の使用状況も確認し、認知症症状への効果を検証することで認知症が進んだ状態にあっても多くの人が住み慣れた地域の中で暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的としています。

各位におかれましては、業務繁忙の折りとは存じますが、当該趣旨をご理解賜り、何卒、格別のお取り扱いをお願い申し上げます。なお、調査実施時には別添の「施設内掲示」をご利用下さい。

謹白

記

【送付書類】

- ①依頼状（本書面）・調査概要・回答要項
- ②調査票{施設票、利用者票（現利用者票／終了・中断者票）}
- ③施設内掲示

以上

※ご回答いただいたデータは本調査実施目的のみに使用し、個別のご回答の情報が外部に漏れることは決してございません。

※本調査は日本精神科病院協会内の倫理会議での審査を経て実施させていただいております（2020年9月23日承認）。

重度認知症患者デイケア実施医療機関への実態調査

1. 目的

重度認知症患者デイケア（以下、認知症デイケア）実施医療機関における全国的な実態調査を行い、認知症デイケアの現状と課題を明らかにする。また、精神科医の他、多くの専門職が配置され、認知症者の重度化予防（三次予防）に認知症デイケアが有効であることを検証する。

2. 調査対象

全国の重度認知症患者デイケア料届出医療機関 295 施設（令和 2 年 6 月 1 日現在）。

3. 調査方法

- (1) 調査日：令和 2 年 10 月 1 日時点
- (2) 回答日：令和 2 年 10 月 31 日
- (3) 調査方法：調査票によるアンケート方式
- (4) 回答者：認知症デイケア担当の看護師
(適宜、担当医や作業療法士、精神保健福祉士と相談ください)

4. 回答方法

■日精協会員病院：回答は原則として、メールでお送りしている質問票のエクセルデータに入力したものを「電子メール」に添付し、下記(1)の調査票提出用メールアドレス宛にご返送下さい。

■日精協会員病院以外の医療機関：郵送にてお送りしている調査票に直接ご記載の上、同封の返信封筒にてご返送いただくか、下記(2)の日精協補助金事業ページより調査票のエクセル様式をダウンロードし入力の上、調査票提出用メールアドレス宛にご返送下さい。

- (1) 調査票提出用メールアドレス： chousa4@nisseikyo.or.jp
- (2) 調査票エクセル様式掲載先（日精協ホームページ内 補助金事業ページ）：
https://www.nisseikyo.or.jp/about/hojokin/2020_94.php

5. お問い合わせ先

公益社団法人 日本精神科病院協会 事業部企画調整課（担当：瀬尾、久保、大竹）
〒108-8554 東京都港区芝浦 3-15-14
TEL (03)-5232-3311 FAX (03)-5232-3309
E-mail：chousa4@nisseikyo.or.jp

重度認知症患者デイケア実施医療機関への実態調査

〔利用者票 回答要項〕

実態調査の調査票（ファイル）は、医療機関の状況等に関する「施設票」と、重度認知症患者デイケアの利用者ごとの状況等に関する「利用者票」の2種類があります。

利用者票は、調査日現在（2020年10月1日）に現にデイケアを利用している患者について回答する『現利用者票』と、調査日から遡って半年間に利用が中断となった患者について回答する『中断者票』の2種類があります。

以下では、回答対象となる患者の考え方、調査項目の定義等の回答要項を整理していますので、回答ご入力前にご確認を宜しくお願い致します。

現利用者票

①回答対象者

継続利用者票の対象として頂く利用者

- 調査日（2020年10月1日）において現に重度認知症患者デイケアを利用している利用者。
- 利用開始日は問いません。
- 最大25人を回答対象として下さい。
 - ※2 単位以上で運用している場合は、例えば以下のように、貴医療機関において利用者リストから任意の25人を選定して対象として下さい。
 - 2 単位（50人）の場合、通し番号を付けた上で、奇数（または偶数）の利用者25人を対象に
 - 3 単位（75人）の場合、通し番号の3の倍数（3、6、9、12・・・）の利用者25人を対象に など
 - ※2 単位以上で運用していて、もし利用者リストがない場合は、氏名の五十音順、カルテ番号順など何らかの形でリスト化を行った上で、上記の要領で25人を選定してください。

②回答方法

- 設問は大きく、「対象者の基本情報（オレンジのパート）」、「デイケア利用の状況（青のパート）」、「効果等の状況（緑のパート）」の3つに分かれます。
- 対象の利用者ごとに1段を利用して、選択肢（ドロップダウンリスト）からの選択、数値の入力、チェックボックスへのチェックにより回答して下さい。
- 選択肢は、調査票の表外下段に、一覧として表示されています。選択肢の中から、該当するもの（または最も近いもの）を選択して回答して下さい*。
 - * 紙媒体で回答する場合は、設問の下に選択肢が記載されていますので該当する選択肢の番号をご記載ください。

①対象者の基本情報（オレンジのパート）

- ・調査基準日における、対象者の属性、介護者の状況について回答して下さい。

㊤デイケア利用の状況（青のパート）

- ・利用開始日は、回答医療機関での現在の利用にかかる利用開始日です（過去の中断後の再利用の場合は再利用の開始日を回答して下さい）。
- ・利用期間中に複数回のアセスメントを実施している場合には、利用開始日に近い（古い）結果について回答して下さい。アセスメントを実施していない場合は、“空欄”のままとして下さい。
- ・向精神薬の服薬や介護サービスの利用は、調査基準日の状況で回答して下さい。
- ・介護サービス事業所の受入拒否は、利用開始以前を含めて、介護サービスの利用を事業所から断られた等について回答して下さい。拒否の理由は問いません。

㊦効果等の状況（緑のパート）

- ・利用開始から調査基準日現在までの重度認知症デイケアの主な効果について、各項目に当てはまる場合にチェックを入れて下さい。
- ・“スタッフが感じた・考える主な効果”は、スタッフの目線から、“ご家族から得られた・聞かれた主な効果”は、スタッフがご家族等への対応の際に聞かれた内容から、判断して下さい。この調査のために全項目について確認をして頂く等の必要はありません。

終了・中断者票

①回答対象者

調査基準日から遡って半年間にデイケアの利用を終了・中断した利用者

- 2020年4月1日～同9月30日までに、重度認知症デイケアの利用が終了・中断となった利用者。
- 利用開始日、終了・中断理由は問いません。
- 最大15人を回答対象としてください。

※15人以上の対象者がいる場合、調査基準日に近い方から15人を選定して対象としてください。

②回答方法

- 設問は大きく、「対象者の基本情報（オレンジのパート）」、「デイケア利用の状況（青のパート）」、「効果等の状況（緑のパート）」の3つに分かれます。
- 回答形式ごとの回答方法、選択肢一覧の表示は「現利用者票」と同様です。

㊧対象者の基本情報（オレンジのパート）

- ・利用中断となった日を基準として、対象者の属性、介護者の状況について回答して下さい。

㊤デイケア利用の状況（青のパート）

- ・利用開始日は、回答医療機関での利用中断となった利用にかかる利用開始日です。
- ・その他の項目は「現利用者票」と同様です。

㊦利用終了・中断および効果等の状況（緑のパート）

- ・利用終了・中断時にアセスメントを実施した場合の結果について回答して下さい。アセスメントを実施していない場合は、“空欄”のままとして下さい。
- ・その他の項目は「現利用者票」と同様です。